

## 特殊詐欺被害と相談状況抜粋(平成30年6月中)

番号	種別	発生日時	場所	情報提供者	相手方	相手方の文言等	被害
1	その他	6月5日 午前9時 ころ	西予市	女性 80歳代	固定電話 不審な男	「20万円用意しておけ、用意できなければ殺す。」という電話があった。数日前には、消防署職員を名乗る者から家族構成について聞かれる電話があった。	無
2	還付金等	6月20日 午後1時40分 ころ	砥部町	女性 60歳代	固定電話 役場職員を名乗る男 銀行員を名乗る男 (被害額:約100万円)	「還付金があるが、こちらからの書類は届いているか。いつも使う銀行を教えて。」 「コンビニのATMの操作の仕方を教えるので言われた通りに操作して。」	有
3	架空請求	6月21日 午後1時45分 ころ	四国中央市	男性 30歳代	ショートメール アマゾンサポートセンターを名乗る男 (被害額:約15万円)	「会員登録の未納料金発生。本日までご連絡なき場合は法的手続きに移行します。」 「電子マネーで支払うことができる。裏に書いてある番号を教えてください。」	有
4	架空請求	6月22日 午前11時30分 ころ	今治市	男性 70歳代	はがき シライシと名乗る男 第一東京弁護士会を名乗る男 (被害額:約900万円)	「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」はがきの連絡先へ連絡すると、弁護士と名乗る男から「裁判を止めるための供託金が必要。」と言われる。	有
5	オレオレ	6月26日 午後1時ころ	今治市	女性 70歳代	電話 四国電力を名乗る男	「はがきを送ったが返信がないので電話した。割引がある。何人で住んでいるのか、若い人はいないか。」	無